

健康科学大学

改善報告書

令和 8 年 7 月 20 日

1. 大学名：健康科学大学

2. 認証評価実施年度：令和 5 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2－1

○健康科学部人間コミュニケーション学科において、学生募集のための改善策を検討し実施しているが、収容定員充足率が 0.7 倍を下回っている点は改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2－1 について

令和 6 年度に法人事務局と大学教職員から構成される新学科設置室を立ち上げ（資料 1）、人間コミュニケーション学科の廃科を含めた収容定員未充足の改善について検討を行い、地元の主要産業の「観光」とそれに関連する「ホスピタリティ」を学問分野とした新学科『（仮称）国際ホスピタリティ学科』の開設に向け準備を行った。しかし、検討を進める中で現行学科の募集停止から新学科開設に係る市場調査や新規教員採用など設置認可までの期間や経費を考慮し、新学科開設はトータル的に困難であると結論付けた。その後に新たな取り組みとして、学長の指示のもと人間コミュニケーション学科教員と教務・学生募集に係る職員により学科カリキュラム再編に向けたワーキンググループを設け、地元の主要産業である「観光」業界との産学連携を強化した上で、高校生が魅力を感じる教育内容について検討を行った。これにより令和 8 年度からはオンデマンド授業、教室でのアクティブラーニング重視の実践型授業、学外でのフィールドワークやインターンシップ導入という、シームレスで多角的な教育スタイルのシステム強化を施している。カリキュラム自体も、専門職国家資格を養成する教育内容から地域社会や時代のニーズに合わせた教育内容への転換、地元企業をターゲットとしたキャリア教育へ大きく再編し、高校教員や保護者にも高い関心を得られる学科づくりに取り組んでいる。また、人間コミュニケーション学科教員が積極的に会場ガイダンスや高校訪問に直接参画し、山梨県内外の通信制高校を新規開拓先として継続的に接触を行うなど、接触者一人一人にキャリアサポート体制の取り組みや教育内容（資料 2）を訴える学生募集に係る広報活動を行い、収容定員充足率の改善に取り組んでいる。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2－1 の資料

【資料 1】新学科設置準備室組織図・手続きスケジュール（2024 年 9 月作成）

【資料 2】人間コミュニケーション学科 説明資料（2026 年 4 月作成）